外来診療医担当表

		月 AM	月 PM	火 AM	火 PM	水 AM	水 PM	木 AM	木 PM	金 AM	金 PM
総合診療	2診		総合診療 廣　西	糖尿外来 河　井	総合診療（循環器） 羽　野	総合診療 廣　西	認知症センター 廣　西	総合診療 （認知症センター） 廣　西		総合診療（循環器） 羽　野	
	3診	糖尿外来 河　井		呼吸器 中　西		泌尿器外来 藤　井 ［2・4週］	肝臓 佐　藤 ※再診のみ		リウマチ膠原病 応援医師 ［2・4週］		
	4診		皮膚科 神人［1・3・5週］ 加山［2・4週］	脳神経内科 梶　本		脳神経内科 梶　本			皮膚科 稲田［1・3・5週］ 中塚［2・4週］		
	新患5診	石　本		川　口		応援医師		河　井		寒　川	
	外科診								櫻　井 ［第3週除く］		
脊椎ケアセンター	6診	脳外 大　岩	脳外 認知症センター 大　岩		脳外 上　野 ［第1週］	脳外 大　岩		脳外 大　岩			脳外 大　岩
	7診	整形 延　與		整形 中　川	足の専門外来 浅　井 ［奇数週］	整形 前　田		整形 延　與		整形 中　川	
	8診	整形 玉　井		整形 原　田		整形 玉　井		整形 原　田		整形 前　田	
眼科	1診	小　門	西	岡　田	雑賀　岩西 ［1週］［2週］ 住岡　石川 ［3・5週］［4週］	永　井	子ども外来 鈴　木	小　門	永　井	岡　田	術前外来
	2診	安　武	永　井	黄斑外来 西	安　武	西		永　井	西	小　門	
小児科		青　柳		樋　口		青　柳		青　柳		青　柳	
リハビリテーション科		幸　田		幸　田				幸　田		幸　田	
		南　方				南　方		南　方		南　方	

診察受付　　月曜日～金曜日：8時45分～11時30分　　再診で予約のある方は指定時間（予約表の記載時間）
＊当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。
予約センター（受付時間8時45分～15時）
TEL 0736−22−4600
認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（9時～17時）
TEL 0736−26−3004

最新の情報は紀北分院ホームページにも記載しています。

令和4年6月1日現在

「かるて師匠の健康高座」

分院長・内科教授　廣西昌也

可流亭：紀子ちゃんは自分が自分だとどうやったらわかる？
紀　子：変な質問！私が私なのは当然じゃない！
可流亭：紀子ちゃんは自分の顔とか、自分の身体って言い方するでしょ？
紀　子：だって私の顔は私の顔ですよ。
可流亭：じゃあ、その「私の」と思える私はどこにいる？
紀　子：私、ですか…。頭の中というか、たぶん先生は脳神経内科のお医者さんだし、答えは「脳」ですか？
可流亭：私たちは動物という生物であって、自分の生存のためのエネルギーを食べることで確保しないといけない。また暑さ寒さから身体を守ったり、他の動物から食べられたりしないように工夫も必要だ。そのため外界の情報を取り入れて、うまく反応するんだけど、そういった処理を脳がやってます。
紀　子：人間が繁栄できたのは、脳の情報処理能力が高いから？
可流亭：特に言語を使えるようになったことで、他人や昔の人の工夫を蓄積して活かせるようになったことが大きかったのだろうね。
紀　子：脳ってすごいんだ。
可流亭：ある研究によると、人間の脳は、スーパーコンピューターの数千倍の処理能力があるそうだよ。
紀　子：私は暗算とか遅いけど、計算機は一瞬でできますよ。
可流亭：計算機は判断とか将来設計はできないもの。危険を察知したり、出来事を分析したり、未来を予測したりするような総合的な処理能力からいうと脳はすごいんだよ。
紀　子：私はそんなすごい処理機械を一台持っているということですね。
可流亭：では、そんなすごい処理機械を持っている「私」はどこにいるの？
紀　子：え？だって、やっぱり私は私じゃないですか。
可流亭：脳はいろいろな判断処理をする情報処理ボックスだと考えると、「私」というのは脳という情報処理ボックスの出来事を、言語という形で記録するためにとりあえずつける主語なんだという考え方もある。
紀　子：「私」は便宜上のものということですか。でも、私は確かにここにいるし、確かに生きているんだけどな。
可流亭：脳はすごいけれども、結局は情報処理ボックスだから正確でなかったり、自分で記憶を書き換えたりしてしまうらしい。でも、紀子ちゃんがここにいる感じだけは確かだというのは鋭いと思います。

【お知らせ】
・紀北分院広報誌「あじさい」は春夏秋冬の年4回発行します。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院　分院長　廣西昌也
〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219　TEL0736-22-0066（代）FAX0736-22-2579
ホームページアドレス　http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html

2022年6月発行

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 広報誌

あじさい

vol.40
2022.

看護部長
松岡　淑子

就任のご挨拶

令和4年4月1日付で看護部長を拝命いたしました。

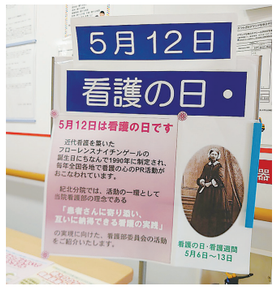
今なお新型コロナウイルス感染症が流行し続ける中で、住民の皆様方の生活もなかなか晴れないこととお察しします。それでも医療はストップすることはありません。

私たち看護師は、患者さんに寄り添い、互いに納得できる看護の実践をめざしています。患者さんの人権を尊重し、一人一人を大切に思う気持ちと丁寧な看護ケアを提供します。また、患者さんの回復能力を引き出し、日常生活の自立を支援します。安全でご安心いただけるためにも、豊かな人間性と高い倫理観を持った看護師を育成し、看護の質の向上に努めていきたいと考えています。

益々少子高齢化が進み、かつらぎ町においては高齢化率40%を超えています。健康な暮らしを支える看護を実践するため、健康で長生きできる疾患の予防的なお手伝いと、住み慣れた環境で安心して生活できるための支援をおこなってまいります。そのためには地域医療機関、訪問看護ステーション、介護施設、行政とのきめ細やかな連携が必要であると感じております。

信頼される病院づくりと地域医療の発展に貢献できるよう努力してまいります。

皆様のご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」と制定されました。当院でも、5月12日を含む1週間を看護週間と定め、イベントを行いました。コロナ禍のため、ポスター掲示のみとなりましたが、院内の専門チーム（褥瘡・NST、骨粗鬆症、糖尿病サポート、認知症サポート、緩和ケア、感染対策）の活動内容や、栄養指導、パンフレット、各種サンプルの配布を行いました。来院者の多くが、足を止めパンフレットを手にするなど関心の高さがうかがえました。

【掲載内容】

- 看護部長就任のご挨拶
- 看護の日
- ドクター着任のご挨拶
- 新任ドクターの紹介
- 外来診療医担当表
- かるて師匠の健康高座

日本医療機能評価機構
認定第 JC2323 号

■着任のご挨拶

■リハビリテーション科

准教授／幸田　剣
診察日：月・火・木・金

朝９時と同時に、20 名余りの方々が一斉にリハビリ室に入られ、それぞれの配置につきます。決して広いとは言えないリハビリ室が、さらに狭く感じます。喧噪の中でも目立つリズミカルな音がお昼まで響きます。外来患者さんが自転車エルゴメーターやハンドエルゴメーターで運動をしている音です。入れ替わり立ち替わり、午前中だけで 60 ～ 80 名の方々が来院されます。台数に限りがあるため、運動機器は常に順番待ちです。順番を待つ間には、治療用ベッドや平行棒などを利用して、それぞれ筋力トレーニングなどの自主訓練に取り組んでおられます。今日もリハビリ室は活気に満ちあふれています。わたくしが着任して以来、毎日見る紀北分院のリハビリ室の光景です。

さて、わたくしが専門とするリハビリテーション医学についてご説明させていただきます。リハビリテーション医学は、障害に取り組む新しい医療であり、総合的に患者さんを捉え、機能を回復し、障害を克服するための医学です。日本リハビリテーション医学会はリハビリテーション医学を「活動を育む医学」と定義しています。障害をもつ方も、ご高齢の方も、活動を高めることで元気に長生きすることができます。近年、高齢化・少子化の進行と医学の発達により、平均余命が延長し、障害者が増加しています。この様な社会的状況から、国民の健康寿命延伸への期待がこれほど盛り上がった時代はないと思います。そこで、患者さんの能力と生活の改善に取り組むリハビリテーション医学の必要性が増しています。

また、リハビリテーション医学の特徴の一つが臓器別ではない点です。患者さんの活動性を高めるため、臓器別医療の枠にとらわれず、「全身を診る」、Whole Body の観点から患者さんに対応し、医師、看護師と理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が一丸となり、能力障害の改善、日常生活動作や QOL の改善に取り組んでいます。リハビリテーション治療は、障害が残存する可能性がある全ての疾患が対象となります。

具体的には、運動機能障害に対し診断・治療を行うことは当然ですが、摂食・嚥下機能障害、排尿・排便障害、高次脳機能障害、義肢・装具・生活補助具、福祉など、様々な問題に対しても対応します。診断に基づいて装具療法、薬物療法、神経ブロック、ボツリヌス療法、手術療法など、あらゆる手段を駆使して障害を治します。

リハビリテーション治療は人を救うための医療行為です。これからも多くの皆さまのお役に立ちたいと考えています。

■内科

助教／寒川　浩道
診察日：金

令和４年４月より紀北分院へ赴任しました寒川浩道（そうがわ ひろみち）と申します。

これまで総合診療医、循環器科医、消化器科医として県内各地で診療にあたってきました。

特に、令和２年度までは橋本市民病院に勤務し心血管カテーテル治療、消化器内視鏡治療などに携わってきましたので、地域事情には明るいと考えております。

紀北分院では総合診療医、消化器医として、若い先生方とともに総合診療や地域医療を盛り上げる活動をしていきたいと考えております。

なお、橋本市民病院勤務時、今では和歌山県立医科大学附属病院で大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療に携わっています。

大動脈弁は心臓から全身に血液を送る大動脈の起始部にある逆流防止の扉で、この弁が狭くなった状態が大動脈弁狭窄です。大動脈弁狭窄症が高度となると、心臓から全身への血流が低下し、また心拍出の際の負荷が増大するため、心不全や狭心症様症状、失神などの症状をきたします。薬物によるコントロールは一般的に困難とされており、従来の治療法は開胸による大動脈弁置換術（SAVR）でしたが、最近はカテーテル的弁置換術（TAVR）が増えてきております。また、身体機能が落ちて上記治療ができない方や抗血小板薬内服が難しい方、心不全急性期の方、非心臓手術術前麻酔手術リスク低減が必要な方には、経皮的大動脈弁形成術（BAV）という治療も行われております。

高齢者病とも呼べる大動脈弁狭窄症への対応はこれから総合診療としても重要ですので、紀北分院にて診断し、和歌山県立医科大学附属病院（SAVR や TAVR）、橋本市民病院（BAV）で治療を行うことが今後増えてくるかと思われます。

■整形外科

助教／前田　孝浩
診察日：水・金

このたび令和４年４月より整形外科・脊椎ケアセンターに赴任させていただきました前田孝浩（まえだ たかひろ）と申します。

私は、関節、手・足、外傷等々ある整形外科分野の中で脊椎（せぼね）を担当させて頂いております。せぼねで発生する代表的な病気としましては、加齢とともに変形を生じ腰痛や足の痛みの原因となる腰部脊柱管狭窄症、また加齢に伴う骨密度の低下が原因となる脊椎圧迫骨折があります。いずれも、日常生活自立度（ADL）の低下、場合によっては『寝たきり』となる一大要因です。

ここで脊椎圧迫骨折について御紹介させていただきます。脊椎圧迫骨折は骨密度が低下した脊椎に発生し、腰痛（時には寝たきり）の原因となります。腰痛が改善したとしても体が前傾に曲がってしまい、逆流性食道炎といった胃腸障害を起こすこともあります。そこで、骨粗鬆症に対する厳密な治療が必要となってきます。

当院では脊椎圧迫骨折の治療もさることながら、骨粗鬆症の治療にも重点を置き脊椎圧迫骨折の発生の予防に努めております。

最後に、整形外科的なことでお困りの際はお気軽に当院にご相談頂ければと思います。地域住民の方々の健康寿命の延伸に少しでも寄与できるよう精進いたしますので今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

■眼科

助教／西　晃佑
診察日：月・火・水・木

令和４年４月より紀北分院の眼科医師として赴任させていただきました西晃佑（にし こうすけ）と申します。

これまで一般眼科外来だけではなく、和歌山県立医大附属病院で黄斑や神経眼科と呼ばれる分野の専門外来を担当しておりました。また、黄斑疾患の中でも加齢黄斑変性と呼ばれる分野の研究に励んでいます。加齢黄斑変性には萎縮型と滲出型の２種類がありますが、私は滲出型加齢黄斑変性を主に研究しております。

今回は、私自身が研究している滲出型加齢黄斑変性という疾患についてお話させていただきます。黄斑とは、網膜（カメラのフィルムにあたる部分）の視力にかかわる部分のことをいいます。この部分に異常を生じると視力が著しく低下したり、物が歪んで見える症状がでてしまいます。加齢黄斑変性とは黄斑に幼弱な血管（これを新生血管といいます）が出現し、血管から液体成分が滲み出したり、出血をきたすことにより視力低下や物が歪んで見えるようになってしまいます。

現在、抗 VEGF 薬という新生血管を鎮静化させる薬剤を眼球の中に注射する方法が一般的です。その他にも、光に反応する薬剤を体内に点滴投与し、新生血管に到達したときにレーザーを照射して新生血管を破壊する光線力学的療法と呼ばれるものもあります。

早期発見、早期治療が大切な疾患ですので、片目ずつチェックして異常があれば、紀北分院の眼科を受診していただけますと幸いです。

紀北地域の眼科診療に全力で取り組んでいこうと思っております。よろしくお願いいたします。

新任ドクター紹介

内科
助教／川口 貴士
診察日：火

整形外科
学内助教／玉井 英伸
診察日：月・水

眼科
学内助教／安武 正治郎
診察日：月・火